

断層映像研究会事務局を引き継いで

日本大学医学部放射線医学教室

田中 良明

この度、平成11年4月より断層映像研究会事務局を浜松医科大学放射線医学教室から引き継ぐことになりました。

断層映像研究会はご存じの通り1972年(昭和47年)2月に当時の名古屋大学教授故高橋信次先生、福島県立医科大学教授故松川明先生方の胆煎りで、日本医学放射線学会の傘下において「断層撮影法研究会」として発足し、それ以来、第1回研究会を福島市で開催してから今年で第28回を迎えようとしております。当時は多軌道断層撮影や回転横断撮影の研究が華やかな頃で、放射線科医、放射線技師、機器メーカーの技術開発担当の方々が共に参加する活気あふれた研究会でした。その後折しもコンピュータ技術の急速な発達によりCT時代の幕開けとなり、本研究会も大きな転換期を迎えることになりました。いわば画像診断情報を処理、伝達する手段が、アナログ式からデジタル式に移行するという変革の時期に遭遇した訳で、取り扱うモダリティも超音波画像、MRI、SPECTなど多岐にわたるようになりました。これに伴い研究会の名称も、1988年(昭和63年)には「断層映像研究会」と改められ現在に至っております。

しかしながらこの間に、画像診断に関するいくつかの学会や研究会が新たに設立され、それらが独自に各々の事業活動を行うようになってからは、本研究会の存在意義について足元から揺るがされるような事態となりました。すなわち断層映像研究会は、「時代の変遷に伴い、当初目的としていた役割を概ね果たしたのではないか」とか、「他の学会に吸収されて発展的解消するのやむを得ないのではないか」といった議論がそれでもあります。この件に関しては、本研究会の

将来計画実行委員会や編集委員会において何度も討議され、今後の活動方針についていくつかの具体的な提案が出されました。平成9年度には、本研究会を改組し「映像診断研究会」として再発足する案についても審議されましたが、世話人会、総会の議において合意が得られず、従来通りの活動方針に基づき継続することで今日に至っております。この討議を通じて明らかになったことは、会員諸氏の心の中には依然として、放射線科医が中心となって、CTを始めとする各種断層映像に関する技術的改良や質的診断の向上を目指す研究会が必要である、との強い要望のあることが判ったことです。

今回、金子昌生教授の定年ご退官に伴い事務局を引き継ぐことになりましたが、小生自身、名古屋大学医学部放射線医学教室に入局し、故高橋信次先生の薫陶を受けた者の一人として、このような巡り合わせになったのも何かのご縁ではないかと思っております。大袈裟なようですが、ここで故高橋、松川両先生のご遺志を生かし放射線医学の発展のために尽くすことが、両先生はじめ本研究会の設立、運営にご尽力された諸先輩の方々への幾許かのご恩返しになるのではないのでしょうか。幸い編集委員長の町田喜久雄教授(埼玉医科大学総合医療センター放射線科学教室)も本研究会を積極的に推進すべく、いくつかの新機軸を打ち出されておられます。本研究会を更に発展させるべく微力を尽くす所存でおりますので、今後とも会員皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

(平成11年5月6日)

事務局からのお願い

-平成11年度年会費納入について-

本年度の年会費(6,000円)をお納めいただきたく、郵便払込み用紙を同封いたしますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。なおご希望の方は、銀行振込もご利用いただけます。2年度以上にまたがって未納の方は、その分も併せてお納めください。

■問い合わせ先

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1
 日本大学医学部放射線医学教室内
 日本断層映像研究会事務局
 Tel: 03-3972-8111 (内線 2552/2553)
 Fax: 03-3958-2454
 e-mail: ysaktnk@med.nihon-u.ac.jp

■会費納入先

・郵便払込 口座番号: 00120-6-117374
 加入者名: 断層映像研究会事務局
 ・銀行振込 東京三菱銀行 大山支店(店番187)
 普通預金口座: 0931404
 口座名: 断層映像研究会事務局

平成11年度第1回 断層映像研究会編集委員会議事録

日 時: 1999年4月6日(火) 11:30~13:00

場 所: ホテル日航東京

出席者(敬称略): 町田喜久雄委員長、遠藤啓吾、大島統男、宍戸文男、杉村和朗、田中良明、土屋一洋、福田国彦、本田憲業、中條政敬 各委員、金子昌生、安河内浩 各顧問

編集事務局: 草野いくよ

欠席者: 大友 邦、星 博昭

■議 事

1. 編集委員長から各委員に、年間3編程度の論文を収集するよう要請が有り、了承された。
2. 次々期会長に、日大 田中良明教授を、世話人会に推薦したいと編集長が提案し、了承された。
3. 1999年秋号に、1999年度の学術大会の抄録を掲載することを確認した。
4. 1999年6月号に会費納入用の郵便払込み用紙を同封することになった
5. 金子顧問から、会員名簿、会計帳簿、繰越金、バックナンバーを製本したものが、新事務局に引き継がれることが報告された。
6. 日本大学医学部放射線医学教室内に置かれる新事務局に担当者を確保した旨、田中委員から報告された。
7. 非会員への雑誌頒布代金は1冊2000円とした。